

令和四年度第七十三回入学式式辞

「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」 丹波篠山に吹く風が暖かな春をもたらし、すべての生命が一斉に息をふきだしました。命・仲間・家族の温かさを感じながら、第七十三回丹波篠山市立篠山中学校入学式を保護者の皆様の協力により挙行することができますことに厚くお礼申し上げます。

また、本日は、丹波篠山市教育委員会教育部長 西羅忠和様 丹波篠山市長 酒井隆明様にご臨席を賜り、お礼申し上げます。教職員一同、心を一つにして個性豊かな生徒の育成に努める所存でございます。新入生をはじめ在校生にも支援を賜りますようお願い申し上げます。

百三十七名の新入生の皆さん。入学おめでとうでございます。先ほどは元気でしっかりとした声を聞き、中学生になって「やるぞ」「がんばるぞ」という決意を感じる事ができました。篠山中学校は、仲間と支え合い、学習に運動に全力でがんばる学校です。今日の入学式も立派な態度ですが、この前向きな心を磨き、中学生の仲間入りをしてください。

さて、この場で皆さんに質問しますので、頭の中で答えてください。「自分のよいところを三つ答えてください。」まとめましたか。答えにくくても、気づいていないだけで、誰でも必ずよいところはたくさんあります。中学校は何をやるどころか理解してほしくてこの質問をしました。成人が十八歳になりましたが、中学校は、自分探しを行い、自分の良さをふやし、将来の夢の実現に向けて大人になる場です。

ところで、大人に向かう未来社会において何が必要か。私たちは、新型コロナウイルス感染対策から、二つのことを学んだと思います。一つ目は、昔どおりしようとするれば喪失感しか得られないが、新しいものを創れば達成感が得られることです。これからの社会は、技術や産業がどんどん生み出され、自分なりの正解を見つける発想が大切になります。つまり、たった一つの答えを早く見つけるジグソーパズル型の学びから、無数の答えからよりベストな答えを創るブロックパズル型の学びとなります。

二つ目、人と集まる機会が減り、絆や友情を確認する機会が減少しましたが、その分、人との出会いを大切にするようになりました。今、若者の間では、ただおしゃべりするだけでなく、ものづくりを一緒に行い、中身の濃い時間を過ごすことが広がっていると聞きます。これを、「創造を意味するクリエイト」と「対話を意味するコミュニケーション」を組み合わせ「クリエケーション」と呼んでいるそうです。

新入生の皆さんも、中学生生活では、この「創造」「対話」を大切にしてください。まず、「創造、つまり、自分から考え行動を起こすこと」です。今日は自分で起きましたか。挨拶すること、自分や仲間の命を守ることも自ら行動することです。また、勉強ができるように

なりたいと誰もが願います。中学校は内容が難しくなると不安に思う人もいると思いますが、勉強が得意になるために、本校は予習を大切にしています。分からないことがあってもいいのです。授業の中で仲間や先生と学び、分からないことを解決すればいいのです。

二つ目は、「対話、お互いに話し合いささえあうこと」です。これからの社会は、予想もしない課題を世界の人たちと話し合い、知恵を集めて課題を解決することが必要となっています。その基礎として、学校には沢山の仲間がいるのですから、授業、行事、部活動で大いに話し合い考えを深めることを進めています。また、中学校は大人になる準備をするところです。だからこそ、社会で守られるルール・マナー、特に「自分にされていやなことは他人にしない」という当たり前のことを守り、お互いを成長させる仲間づくりをしてください。

次に、保護者の皆さんにお話しします。学校は、話し合いの中から創るものです。生徒と、保護者、地域の方々、教職員の四つの声がこだまして、学びの場が生まれます。保護者の皆さん、心配や疑問が生じたときは遠慮なく学校に相談して下さい。本校では、道徳や教育相談などに学年教師が全員で関わる学年担任制をひき、教職員全体で、「教育は今日行く」を合い言葉に、つまりその日の内に、素早く丁寧に、そして笑顔で反応したいと思います。また、新型コロナウイルス感染症対策として、学校では、マスク着用や手洗い、黙食の徹底、換気、距離の確保など濃厚接触が起きない感染症対策を進めております。ご家庭におきましても、生徒及び同居のご家族に喉の違和感や発熱等の風邪症状がある場合の出席停止などご協力をお願いします。

結びに、新入生の皆さん。今日から、中学校生活が始まります。先輩の築いてきたよき伝統を受け継ぎ、さらなる輝く功績が築けるようがんばってください。子どもから大人へと向かう思春期は、いろんな悩みや上手くいかないことも起こります。篠山中学校の教職員は厳しいけれど、温かく優しく教えます。そして、一人一人が安心して活躍できる居場所ができるように、まごころをもって一緒に解決策を考えます。この瞬間からみなさんの夢と可能性を全力でサポートすることをお約束し、式辞とします。

令和四年四月十一日

丹波篠山市立篠山中学校長

細見博文